

# 平成21年度 法人会計予算の概要

事務局長 中野 拓美

平成21年3月18日の評議員会及び理事会において平成21年度事業計画が決定され、またそれに基づいた平成21年度予算が承認されましたので、資金収支予算書及び消費収支予算書の総括表を示し、その概略を説明させていただきます。

## I. 資金収支予算（表1）

### 1. 資金収入予算

- （1）学生納付金収入については、学部学生は入学定員270名、授業料は全学年を前年度と同額の1.7百万円で積算しましたが、現員学生数が減少するため、大学院生分等も含め、前年度より28百万円減の2,337百万円を計上しました。
- （2）手数料収入については、学部入学検定料が前年度とほぼ同額と予想されるため、その他手数料と合せて、77百万円を計上しました。
- （3）寄付金収入については、一般寄付としての桔梗育友会及び同窓会からのご寄付のほか、企業等からの奨学寄付の申込みを見込み、合せて前年度比同額の25百万円を計上しました。
- （4）補助金収入については、経常費補助金やその他の補助金等を見込み、前年度を多少下回る329百万円を計上しました。
- （5）資産運用収入については、期中に運用利回りを年1.4%程度と想定した結果、前年度比同額の101百万円を計上しました。
- （6）事業収入については、補助活動収入（寮費収入等）と企業等からの受託事業収入とを合せ前年度比同額の35百万円を計上しました。
- （7）雑収入は、私立大学退職金財団交付金ほかで、174百万円を計上しました。
- （8）前受金収入は、学部入学定員270人を前提に22年度入学手続き者等として406百万円を計上しました。
- （9）その他資金関係では、今年度予定されている大型機器（MS）更新のための支払などのため、大型機器充実資金（第2号基本金引当資金）から100百万円の取崩が予定されており、これを含めたその他の収入として420百万円を計上しました。

### 2. 資金支出予算

- （1）人件費支出については、教育職員と事務職員に例年通り若干の補充枠を見込み、非常勤教員等の給与や定年退職者の退職金等を合せ、1,753百万円を計上しました。

- （2）教育研究経費支出については、通常の支出に加え、引続き学部実習や共用試験に関する6年制対応関係費などを見込み、前年度比5百万円減の811百万円を計上しました。
- （3）管理経費支出については、通常支出のほか派遣業務費や広告費等の増額計上や1号館耐震診断費などにより22百万円増加し、233百万円を計上しました。
- （4）借入金利息支出については、日本私立学校振興・共済事業団の借入金利息として13百万円を、また、借入金返済支出については、同じく同振興・共済事業団への約定返済を中心に47百万円をそれぞれ計上しました。
- （5）施設関係支出については、1号館屋上防水・外壁補修工事、如修塾外壁補修・屋上防水工事、正門改修工事ほかで、合計110百万円を計上しました。
- （6）設備関係支出については、大型機器（MS）更新、講義室AV化、実習用顕微鏡・学生ロッカー・液晶モニターの購入、研究用・実習用機器費、図書費ほかで、合計201百万円を計上しました。
- （7）資産運用支出については、減価償却引当資金や、第2号基本金引当資金のうち教育環境整備引当資金や施設設備整備引当資金や大型機器充実資金への積立等を行うこととし、前年度比100百万円減の370百万円を計上しました。

### 3. 次年度繰越支払資金

以上の収支のほか、資金調整勘定等の差引を加味した次年度繰越支払資金は408百万円と前受金406百万円を上回り、資金収支予算上の安全性は確保されています。

## II. 消費収支予算（表2）

消費収支については、資金収支の内容を基に、帰属収入から276百万円を基本金へ控除組入れし、支出には減価償却費を加算した結果、当年度の収支は前年度予算に引続き348百万円の支出超過となり、これにより翌年度への繰越消費収入超過額が前年度より減少し289百万円となるため、予算執行に際しては、改めて支出の見直しの強化などにより経費節減を進め、引続き収支改善に努力していく所存でありますので、なにとぞよろしくご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。